



2012年8月28日

各 位

会 社 名 鳥居薬品株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松尾 紀彦
(コード番号 4551 東証第一部)
問 合 せ 先 経営企画部 (TEL 03-3231-6814)

新規抗 HIV 薬「JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠」の日本国内における販売権
に関する契約締結について

当社は、別紙の通り、日本たばこ産業株式会社（本社：東京都港区、社長：小泉 光臣、以下「JT」）との間で、JT が 2012 年度中に日本国内における製造販売承認申請を予定している、新規抗 HIV 薬「JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠」（米国での販売名 StribildTM）について、承認取得後、当社が日本国内において独占的に販売する契約を本日締結しました。

財務への影響について

本契約締結に伴い、当社は JT に対し、契約一時金 27 億円を支払うこととなっております。なお、当該契約一時金については長期前払費用として資産計上します。

支配株主との取引等に関する事項

本契約締結に伴う販売権の授受（以下「本取引」）は、当社の親会社である JT との取引であり、支配株主との取引等に該当いたします。

当社は、本取引の内容について、支配株主との間で利害関係を有しない、公認会計士會澤事務所 公認会計士・税理士 會澤恒氏から当社の費用負担（経済条件）に関する見解を、また、支配株主との間で利害関係を有しない、ピంగాム・マツケン・ムラセ外国法事務弁護士事務所 坂井・三村・相澤法律事務所 弁護士 松村卓治氏及び阪口嘉奈子氏から経済条件以外の見解を入手したうえで、支配株主との間で利害関係を有しない当社独立役員である鳥養雅夫氏から、本取引は当社の HIV 領域における将来の事業成長に資するとの判断は不合理なものではないこと、かつ、本取引における取引条件は当社にとって不利益でないと評価できること、本件契約書締結に関する交渉過程及び意思決定過程に特に不当な点は存しないこと等の事情を総合的に考慮すれば、本取引を行うべき旨の意思決定を行うことは、当社の少数株主にとって不利益なものではないと思料する旨の意見書を、2012年7月6日付で入手しております。

なお、当社は、「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」を次の通り定め、2012年6月21日付「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」において開示しております。

『親会社との主な取引として医薬品の仕入があります。当該取引を行う際におきましては、他社からの仕入と同様に、適正な価格水準、取引条件により行っており、品目毎に売買契約を締結しております。なお、当該契約は、環境の変化に応じて両社協議のうえ価格等の取引条件を変更できる内容になっており、適宜適切にこれを見直しております。』

金銭等の貸借関係につきましては、親会社を中心としたJTグループ・キャッシュ・マネージメント・システムの利用があります。当該システムの利用にあたりましては、市場動向等を勘案のうえ有利な預託先の一つとして、当社独自の判断で活用しております。

なお、親会社との新たな重要な取引等に係る決定を行う場合には、外部の有識者から見解を入手したうえで親会社と利害関係を有しない社外役員に意見を求めるなどの措置を講ずることとしております。』

当社は、支配株主との間で利害関係を有しない公認会計士・税理士及び弁護士から意見書を入手したうえで、支配株主と利害関係を有しない社外役員による意見書の提出も受けており、本取引は当社の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」と適合するものと判断しております。

(添付)

別紙：「新規抗 HIV 薬『JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠』の日本国内における販売権に関する契約締結について」

以 上

2012年8月28日

各位

日本たばこ産業株式会社
鳥居薬品株式会社

新規抗 HIV 薬「JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠」の日本国内における販売権
に関する契約締結について

日本たばこ産業株式会社（本社：東京、社長：小泉光臣、以下「JT」）及び鳥居薬品株式会社（本社：東京、社長：松尾紀彦、以下「鳥居薬品」）は、JT が 2012 年度中に日本国内における製造販売承認申請を予定している JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠（米国での販売名 StribildTM）について、承認取得後、鳥居薬品が日本国内において独占的に販売する契約を本日締結しました。

本配合錠は、JT が創製した「JTK-303(elvitegravir)」(インテグラーゼ阻害剤)と、「エムトリバ[®]カプセル 200 mg」及び「ビリアード[®]錠 300 mg」(ともに核酸系逆転写酵素阻害剤)の有効成分、並びに JTK-303 の血中濃度を上昇させる働きをもつ cobicistat の配合錠で、1 日 1 回 1 錠の投与で有効性を示すため、患者の服用利便性の向上や長期的な服用遵守の促進が期待できます。

現在、JT グループでは、抗 HIV 薬として「ツルバダ[®]配合錠」「エムトリバ[®]カプセル 200 mg」「ビリアード[®]錠 300 mg」「ピラセプト[®]錠 250mg」を鳥居薬品が販売しており、これらに加え、本配合錠が承認され、販売することになれば、HIV 感染症領域における医療へのより一層の貢献ができるものと考えています。

なお、本契約締結に伴い、鳥居薬品は JT に対し、契約一時金 27 億円を支払うこととなります。

(注)「Stribild」、「ツルバダ」、「エムトリバ」、「ビリアード」はギリアド・サイエンシズ社の商標または登録商標です。

以上